

Contents

- 2, 3 川越市主催ワーカーズ起業相談会
起業相談会から生まれた ま・た・ね
ワーカーズとして再出発 ひまわり
- 4 ワーカーズのごはんはいかが？
心こめてつくります



井瀧 佐智子の ワーカーズ運動

井瀧佐智子：25年前にお弁当屋ワーカーズを立ち上げて以来、ワーカーズ運動に関わってきた。今年度より2度目の埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会会長。

お弁当屋旬

私を含めた3人で、月1回の弁当を生協活動の場にバイクで届ける。これが「ワーカーズ・コレクティブ旬」の始まりだった。

1991年3月、11人の浦和の主婦が始めた事業は今年25周年。11人のうち残ったのは私1人になってしまったが、今は22人を超え、事業高は4,000万を超えようとしている。39歳から25年間、私の生活は常にワーカーズと共にあった。

連合組織をつくらなきゃ

いつかワーカーズで働こうとは思っていたが、事業を創り出すいわゆる起業は並大抵なことではない。当時、先輩としてのワーカーズは数える程で、連絡会を作っていたが、ワーカーズ・コレクティブというイメージだけが先行し、関係団体からも理解や支援は得られず、「連絡会」という生半可な組織では対抗すべくもなく、ワーカーズ同士の繋がりを強めるため「連合会」に改めた。「連合会」にするまでの悪戦苦闘はすべて忘れてしまったが、総会当日、挨拶をしながら思わず涙が溢れてきた事を今でも思い出す。

ワーカーズ・コレクティブに法律を！

ところでワーカーズ・コレクティブという法人格は、今でもこの国にはないことをご存知だろうか。G7先進国の中でこのような法人格がない国は日本だけである。さいたま市民という言葉はあっても、市民事業や市民活動といった「市民」の使われ方はこの国の法律にはない。NPO法も市民活動法にはならず、特定非営利活動法人となり、ここにも「市民」の概念は見当たらない。「WNJ」の前身の「市民事業連絡会」

必要な働き方だから、 社会に広げていきたい

も NPO 法制定に関与したが、市民事業は見事に外されてしまった。

全国組織 WNJ の役割

各地にできたワーカーズの連合組織を束ねる組織の名がWNJ（ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン）と改まった頃、埼玉からの代表としてWNJ主催第2回全国会議から出席してきた。第1回目は嵐山の国際婦人会館で行なわれて、「旬」の代表として出席しているので、今まで全ての全国会議に出席していることになるが、この会議では常に、ワーカーズ・コレクティブ法の制定に関する基調講演や分科会がある。そもそもWNJの結成目的はこの1点にあったと言える。国内の協同組合としての連携が強化されなければワーカーズ法など望むべくもない。WNJの代表として議員会館には何度も足を運び、関係各所にアピールもしてきたが、この国の議員は感度が鈍く、法制局の役員のように現法律との整合性ばかり気にして、新しい法案を作るという国会議員の気概は見えなかった。

当時の坂口厚生大臣が「ワーカーズ・コレクティブ等の新しい働き方を」と、国会で答弁し、唯一国会の中で聞いたのだが、その後その新しい働き方は派遣社員や増大する非正規雇用に繋がってきた。労働者側の完敗である。雇用と非雇用しかないこの国に、働く人達の協同組合、ワーカーズ・コレクティブが理解されるのは、もっともっと格差が広がらないと難しいのか。

地域の必要に応えつづける

「旬」の新しい事業を立ち上げると同時に助け合いワーカーズ「この指とまれ！」も立ち上げた。もちろん私ひとりでやったわけではない。それから10年。地域に必要な、そして私達に必要なワーカーズと共に働き、共に生きることを目指し残りの人生をかけてみようと思う。

生活の中での 「こんなサービスが欲しい！」 という気持ちを事業にしませんか

川越市主催 ワーカーズ・コレクティブでの起業相談会

5年目を迎えた起業相談会

川越市が埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会と連携し、市民事業のワーカーズ・コレクティブという働き方での起業を後押しする相談会（以前は講座）も今年で 5 年目を向かえました。この相談会からは 2013 年に家事支援サービスを担う「ま・た・ね」（2014 年に NPO 法人を取得）が発足、連合会に加盟しています。

少しずつ確実にひろがるワーカーズ・コレクティブ

この相談会にはこれまでも、地域に貢献する事業を自分で起こしたいという熱い思いを持つ市民の皆さんが訪れました。連合会では協同する働き方での起業についてお伝えし、そこを理解していただきながら、起業のためのノウハウをお伝えします。ワーカーズ・コレクティブという働き方に初めて触れた皆さんには、その優位性を頭では理解しながら自分が起業するときのイメージは従来の雇用関係でのものから抜け切れないという方もいます。それでもこのような働き方があることを知ってもらい、実際に起業された方が順調に事業を行っている実績ができてきています。

高齢者も気軽に立ち寄れるカフェがほしい

今回相談に来られた方は、ご自身の子育て中の地域での経験や同居されている親御さんへの思いなどの動機から、温めてこられたコミュニティカフェの夢を語ってくれました。誰でもふらりと立ち寄れてほっとできるカフェのような場所を提供したい。そのような事業は、これからの社会や地域に必要とされるものなのだと私たちも考えました。地域貢献性の高いこのような事業には採算性が低いことが予想され、実現のためには色々な支援が必要です。

行政に期待すること、連合会のできるこ

今回の相談会の最後に、川越市の担当職員の方に行政の施設でのコミュニティカフェ設置の動きについて情報確認することをお願いし、市民による非営利事業ワーカーズ・コレクティブの起業の後押しをお願いしました。



もちろん連合会も仲間集めや、事業運営、組織運営等のノウハウを伝え、相談者の夢をワーカーズ・コレクティブという働き方でかなえることを全力で支援していきます。

相談会から誕生したワーカーズ・コレクティブ

住み続けたいまちにする

生活家事支援 「NPO法人ま・た・ね」

〒350-1174 埼玉県川越市かすみ野 2-18-14
090-3137-9857
代表 田中和子



地域福祉への危機感

2012 年夏、目にとめた行政のチラシから川越市の起業相談会に参加しました。「これからは介護保険だけでは暮らしていけない、高齢者の生活を支えるために自分の経験を生かした活動ができた」という想いがありました。

ひとりではできなかったことを実現できた

本当に起業出来るのか？メンバーを集めることが出来るのか？不安だらけで迷っていました。連合会には何回も相談にのってもらいました。メンバーを集めるべく生協組合員に向けて、チラシ配布を何回もしてもらいました。6名のメンバーが集まり、運営会議を重ね

2013 年に準備会を設立しました。その時には 13 名のメンバーになっていました。

「介護保険では対応出来ないことへの支援をしたい。」「買い物や通院に困っている方が多い。」「生活支援や移送サポートをしては？」等々話し合いました。

NPO法人を取得したものの、依頼のない日々が続く

福祉有償運送の認可を取るには、非営利法人でないとできない！

2013年11月の設立総会でNPO法人格取得の決定をし、届を出し二カ月の縦覧期間を経て、2014年4月2日に認可されました。その間も有償ボランティアとして少しずつ活動していました。2014, 9, 16に福祉有償運送の登録をすませ、正式に活動を始めましたが依頼もなく「今は存在を知ってもらう時期」「福祉について皆で学ぼう。」と地域包括や病院、公民館にもリーフレットを置かせてもらったり、市の障害福祉課に相談にも行きました。

信頼を得てひろがる事業

今年度に入り、4月から急に仕事が入るようになり、うれしい悲鳴？をあげています。一番多いのはやはり病院の送迎です。それだけ移動に困っている方が多いということだと思います。その中から、部屋の片づけや衣類の入れ替え、草取り、ゴミ捨てゴミ掃除、見守り、車椅子での床屋への支援も出てきました。障害をお持ちの方も多く、障害者総合支援法による障害者福祉サービス事業の取得の必要性を痛感しています。今は年配者で頑張っていますが、将来若い人たちがこの仕事で頑張れる道筋を作っておきたいと思います。

ワーカーズ・コレクティブとして再出発！

介護予防に、楽しく ひまわりウォーキング 「ワーカーズ・コレクティブひまわり」

〒340-0043 埼玉県草加市草加 1-18-13
わ〜くわっく草加内
TEL 048-943-0909 FAX048-941-8293
代表 水野智子

ワーカーズとして独自事業を開始

介護保険事業所「わ〜くわっく草加」で働く職員は、総合的な福祉事業を目指し、誰でも安心して暮らせる地域福祉を実現するために本年4月1日から、「ワーカーズ・コレクティブひまわり」として再スタートしました。通所事業と居宅支援事業の介護事業以外に7月か



たくさんの参加者が楽しむ、ひまわりのウォーキング教室

ら新事業として「ウォーキング教室」を開始しました。 介護の必要ない身体をつくろう

「将来、介護される必要のない身体づくり」を目指して「楽しく♪美しく♪健康に♪」をキャッチフレーズに毎週土曜日の午前中開催していますが、既に登録会員は25名で、夏の暑さにもかかわらず延91名が参加されました。

ウォーキングの効果は継続が大事ですが、既に会員の中には月に100km以上も歩かれている人が数人おり、「慢性の肩こりが治った」、「便通が良くなった」、「夜、熟睡できるようになった」など効果が出てきております。

現在、専門の指導員は2名ですが、「正しい姿勢」「踵からの着地」「腕を大きく振る」など「美しく歩く」ことを中心に指導しています。

会員は生協組合員、利用者の家族、及び地域の住民など多彩ですが、介護員も多く参加しております。

＊「ウォーキング教室」では本格的ウォーキングシーズンを迎えるにあたり、もっと大勢の人にウォーキングを楽しんで頂くため、下記のイベントを計画しております。

10/24(土) 草加〜柴又帝釈天（約13km）

12/13(日) 草加から綾瀬川を海まで歩く（約28km）

イベントには広く参加者を募集し、完歩者には完歩証明書、記念バッチを渡す予定です。皆様もぜひご家族で参加してください。

尚、「ひまわり」としては「ウォーキング教室」以外の新事業として、ご利用者に夕食を提供しながら介護時間を延長する「夕食サービス」や介護保険外の

訪問サービスを主体にした「生活支援サービス」などにも取り組む予定です。

ワーカーズのごはんはいかが？



食べものは命のみなもとだから、みんなにちゃんとしたものを食べてもらいたい。
そんな志から起業した私たちの食事を、ぜひ味わってみてください。

心こめてつくります

「命をつなぐ おいしい食事」これは食関連ワーカーズのキャッチコピーです。

人間は他の生き物の命をいただいて生きています。食事をするということは他の命と自分の命をつないでいくことなのだと思います。そして、大事に育てられた安全な食べ物（命）を愛情込めて調理し、料理を食べてくれた人たちに「安心して食べられるおいしい食事」の大切さを伝えていくこと、これも「命をつなぐ」ことなのかな、と考えたりします。

最近増えてきた幼稚園給食の依頼。注文をいただいている園の園児から『おいしかったー』というメッセージが届きます。時には保護者からの「レシピがほしい」との希望にも応えています。アレルギーへの対応は、保護者と園とワーカーズが三者で顔を合わせ、確認作業を行ってつくっています。

また高齢の方からの1個の配達依頼にもできる範囲で応えています。おいしい食の提供だけではなく、食べる人の事情やニーズに細かく対応していることもワーカーズ・コレクティブの食づくりの特徴です。

私たちは、料理を通していろんなところでたくさんの人、そして命をつないでいる。これからも心を込めておいしいごはんを作っていこう。小さい頃に覚えた本当の食べ物の味は、大人になってもきっと忘れないでしょう。

根岸 真澄



ぼくメッシーちゃんです



食べないと損しちゃうよ

ぼくメッシーちゃんです。食事を提供するワーカーズ・コレクティブのイメージキャラクターです。僕を見かけたらワーカーズのごはんが食べられるって思ってね。

ワーカーズの食事業所は首都圏に70近くあって、共通の食材が使える共同仕入のシステムを作っているんですよ。無添加で安全なだけではないんです。自然なだしを使い手作りで、余計な添加物はいれないから、体にとっても良いんです。しかもとってもリーズナブル。それはもちろんワーカーズが利益を追求する組織ではないからなんですね。つまり僕を見かけたら、ごはんを食べないと損しちゃうってことなんですね！



埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会 情報誌 WAVE59
〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋 1-5-3 ひゅうまんポスト2F

電話/FAX 048-844-0221

E-mail saitama.waakore@gmail.com

<http://saitama-workers.com/>

編集制作 ワーカーズ・コレクティブ ピアズねっと
1部 ￥100